

平成30年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	①基礎的・基本的な知識と技能の習得を図るために教育課程編成や組織的な授業改善に取り組む。 ②学校行事の活性化や外部教育力の導入、単位の互換性を利用した幅の広い学習方法を検討し主体的な行動の促進を図る。	①「主体的・対話的で深い学び」に取り組むとともに、系列選択科目の充実に努める。 ②夏季連携講座、就業体験活動等を通じて、多様な学びを生徒に提供する。	①教材の共有化、定期試験の共通化、研究授業等を通じて、教員が互いの取組みに学び合う関係づくりを強化する。 ①「集中タイム」の取組みを通じて、学習意欲の向上を図る。 ①生徒の興味・関心、進路に応じた新たな系列選択科目の設置を検討する。 ②各種検定も含め、「学校外における学修」の積極的な情報提供を行う。	①教材の共有化、学校必履修科目におけるテストの共通化が図られたか。 ①「主体的・対話的で深い学び」をテーマとする研究授業等が実施されたか。 ①未修得者数を減らすことができたか。 ①新たな科目が設置されたか。 ②学習活動に参加した生徒の学びに対する意欲の向上が見られたか。					
2 生徒指導・支援	①校内のルールを遵守させることで授業に集中させ規範意識を身につけさせる。 ②部活動加入率を上げる工夫を行い責任感や連帯感の涵養を図る。	①規範意識の涵養を図るため、組織的な指導体制を構築し、教員間の共通理解をもった指導にあたる。 ②年間活動計画を作成するとともに、部活動加入率を上げる具体的な方策を検討する。	①学習環境整備としての授業不要物指導、キャリア教育の一環としての頭髪服装指導を充実させる。 ①スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、教育相談コーディネーターと連携しながら、いじめ・不登校等の相談活動を充実させる。 ②生徒のニーズも含めた現状把握を行うとともに、具体的な方策を立てる。	①共通理解をもって指導に関わることができたか。 ①有機的な連携を図ることができたか。 ②計画的な部活動運営を行うことができたか。 ②加入率向上にむけた方策を講じることができたか。					

	視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
3	進路指導・支援	ガイダンス科目の内容の見直しを行い生徒自らの意識の変容を図り進路未決定者を減らす取組みを行う。 ②キャリアカウンセリングの研修を行い教員が適切な支援を行えるようにする。	①適切な職業観や勤労観を育成し、また社会人として適応できる能力の育成に努める。 ②一人ひとりの生徒の進路実現に向けて丁寧に寄り添い、引き続き進路未定者減に取り組む。	①「未来探索ⅠⅡⅢ」の学習内容に日常的な改善を行い、「キャリア教育実践プログラム」に定めるキャリア諸能力の育成を図る。 ②生徒一人ひとりの将来の職業・進路を踏まえ、適切で計画的な履修指導、キャリアカウンセリングを実施する。	①「未来探索ⅠⅡⅢ」の取組みに日常的な改善を加えることができたか。 ①履修指導、キャリアカウンセリングが計画的に実施されたか。 ②進路未定者を減らすことができたか。					
4	地域等との協働	①近隣の小・中学校との交流を図り、地域での協働を推進し、信頼される学校づくりを進める。	①近隣の事業所・施設、小・中学校との交流、地域での協働を通して、生徒の自己有用感を育む。 ①学校運営協議会での取組みを通じて、学校教育力のさらなる向上を目指す。	①近隣の事業所・施設や小・中学校等と、ボランティアや様々な体験活動を通じて交流・連携を行う。 ①PTAと協働で実施する生徒発表行事を、地域連携の場として充実させる。 ①学校運営協議会を計画的に開催する。	①近隣の事業所・施設、地域等との交流・連携が深まり、内容や回数は充実したものであったか。 ①学校運営協議会を計画的に開催することができたか。					
5	学校管理 学校運営	①教職員の資質の向上を図る取組みを行い、課題解決に向けて組織として対応する仕組みを構築する。	①業務の効率化を推進しつつ、教職員の資質の向上を図る研修を定期的に行う。	①人材育成を図るという観点から、グループ編成に日常的な改善を行い、効率的な業務遂行を図る。 ①業務アシスタントの積極的な活用を図る。 ①全体研修と対象職員を明確にした研修をバランス良く配置し、教職員の資質向上につながる工夫を行う。	①ネットワーク管理や私費会計業務をチームで行い、効率的な業務遂行の成果があったか。 ①業務アシスタントの活用がなされたか。 ①職員研修の充実により、生徒にその成果を還元できたか。					

